

<u>クラス :</u>	<h1 style="color: red;">助動詞スペシャル</h1> <h2 style="color: red;">EGrM-32H</h2>
<u>曜日 :</u>	Wednesday ハイブリッド+アーカイブ対応
<u>時間 :</u>	14:30-16:20
<u>レベル :</u>	中級
<u>講師 :</u>	Ms.大石美幸
<u>目的 :</u>	<p>英文法の要である動詞句を構成する大事な品詞、「助動詞」に着目し、その本質をおさえ、実際の英語運用に直結できるようインテンシブに学びます。</p> <p>助動詞というと、can, may, must, will, would, should 等の法助動詞 (modal auxiliary verbs) のみの学習に終始しがちですが、助動詞にはもう一つ別の種類の助動詞、第一助動詞 (primary auxiliary verbs) があり、両方を合わせて学ぶことが助動詞あるいは英文法全体の理解のためには不可欠です。</p> <p>まず、「第一助動詞」と「法助動詞」のそれぞれの役割と違いをおさえ、後に、多種多様な法助動詞のそれぞれの違いに迫ります。目的は常に、「理解の上に立つ実践文法」です。</p>
<u>授業内容 :</u>	<p>時制、法、態をコントロールする大事な文法機能を受け持つ第一助動詞と、(可能性、意図、必要性などを微調整しながら) 話者の気持ちを表現する法助動詞の役割と違いを明らかにし、豊富な例文と練習問題で確認していきます。</p> <p>同時に、多種多様な法助動詞どうしの微妙な違いを、やはり豊富な例文と音読で確認、固定させていきます。特に学校英語で教えられたであろう、*can = できる、*could = can の過去形、*should = べき、*would = will の過去形、または丁寧表現に使う、などといった偏った思い込みからの解放を目指します。</p> <p>カバーする助動詞は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - Can, Could, and (be) able to - Could (do) and Could have (done) - Must and Can't - May/Might and May/Might have (done) - Have to and Must

	<ul style="list-style-type: none"> - Must/Mustn't/ Needn't and Must have (done) - Shall, Should and Should have (done) - Will/Won't and Will have (done) - Would and Would have (done) - Had better - Ought to, and Ought to have (done)
<u>教材 :</u>	プリント配布
<u>備考 :</u>	ハイブリッド+アーカイブ対応授業（オンライン参加可能、授業後動画配信あり。）